



学習のポイント

当校のお話の記憶問題は、標準的な長さのお話に、設問が数問という標準的なものです。動物たちが遠足に行くという内容で、そこに出てきた乗りものや食べものについての質問が出るといった形ですから、小学校受験としてはスタンダードな形式、内容と言えるでしょう。読み聞かせなどを通して聞く力を付ければ充分に対応できます。ただし、③のいなり寿司の数の問題は少しややこしいので要注意です。キツネくんはいなり寿司をみんなに1つずつ、合計で4つあげていますが、「タヌキくんがもらった数」は1つです。聞き流していると勘違いしてしまうかもしれません。保護者の方は、当校ではこうした出題もあるということをお子さまに教えておきましょう。「ひっかけ」に要注意、ということです。

【おすすめ問題集】

1話5分の読み聞かせお話集①②、1話7分の読み聞かせお話集入試実践編①、お話の記憶 初級編・中級編・上級編、Jr・ウォッチャー19「お話の記憶」

問題38

分野：数量（数の増減）

〈準備〉 鉛筆

〈問題〉 (問題38-1の絵を渡す)
1番左の列を見てください。2つのお皿に載せられたアメを、箱に入れます。箱の中にはいくつアメが入っていますか。その数だけ、下にあるアメに○をつけてください。できたら残りの問題も進めてください。
(問題38-2の絵を渡す)
1番左の列を見てください。上のアメを、下のようにお皿と箱とに分けます。お皿の上にあるアメの数をみて、箱の中にアメがいくつ入るのかを考えて、その数だけ、下のアメに○をつけてください。

〈時間〉 各10秒

〈解答〉 ①○：5 ②○：6 ③○：6 ④○：2 ⑤○：4 ⑥○：7

[2018年度出題]



学習のポイント

①から③は、2つの数を足した数を考える問題、④から⑥は、ある数からある数をひいた数を考える問題です。小学校受験では、数字を使って計算することは求められていません。本文のようなたし算・ひき算に必要なのは、描かれた絵をみて数がわかることと、数の増減を理解することです。数のイメージや感覚を身につけるには、おはじきなどの具体物を用いるほか、生活の中で数をかぞえてみるなどの工夫をしてみてください。たし算・ひき算の学習でも、本問のアメの絵の上にそれぞれおはじきを置いて、分けたり合わせたりしてイメージを養ってください。

【おすすめ問題集】

Jr・ウォッチャー38「たし算・ひき算1」、39「たし算・ひき算2」、40「数を分ける」